校 長 室 だ よ り（No.24）

令和４年 12 月７日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

日本の人口減少

全国で人口減少や少子高齢化が大きな課題となっています。多くの地域（地方）で生産年齢といわれる世代の人口が減少しています。人口減少によって、労働力の不足や比較的小さな地方の企業経営者においての後継者不足、また税収の減少によるさまざまな行政サービスの質の低下や丹波市内でも起きています空き家の増加などさまざまな問題が生じます。人口の増減率を全国で見てみますと右図のようになります。

全国の人口増減率

順位	市区町村(都道府県)	人口	増減率	増減数
1	中央区（東京都）	171,419	14.55	21,779
2	流山市（千葉県）	204,512	13.22	23,875
3	千代田区（東京都）	67,049	12.14	7,261
4	大阪市中央区（大阪府）	108,628	12.1	11,726
5	大阪市北区（大阪府）	134,184	11.76	14,116
6	印西市（千葉県）	107,633	10.66	10,370
7	大阪市西区（大阪府）	103,817	10.05	9,482
8	福津市（福岡県）	67,851	9.97	6,153
9	中城村（沖縄県）	22,223	9.58	1,943
10	名古屋市中区（愛知県）	89,654	8.88	7,309

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和4年1月1日現在）（総務省）より

行政区の規模や人口の違いにより、意外な市町村の順位が高くなっています。沖縄県中城村（なかぐすくそん）では、大学の移転に伴い人口の大幅な増加がみられています。小さな市町村でも何故人口が増えたのか、それぞれに理由があるようで、詳しく調べれば面白いと思います。

これを兵庫県で見てみますと次のようになります。10 位の加東市以外は、ほぼ阪神間の市区町が並んでいます。この表を見て驚いたのは、12 位より下の市区町村は、全て増減率がマイナスだということです。丹波市は、35 位でマイナス 4.57%ということでした。丹波市の市民として人口減は日々実感しています。

兵庫県の市町村人口増減

順位	市区町村	平成27年人口(人)	人口増減率(%)
1	中央区	135,153	6.93
2	芦屋市	95,350	2.27
3	灘区	136,088	1.98
4	播磨町	33,739	1.68
5	東灘区	213,634	1.53
6	西宮市	487,850	1.08
7	明石市	293,409	0.84
8	太子町	33,690	0.75
9	伊丹市	196,883	0.39
10	加東市	40,310	0.32
35	丹波市	64,660	-4.57

平成27国勢調査（総務省統計局）都道府県・市区町村別主要統計表より

今後の見通しとしまして、日本の総人口は、今後、長期の人口減少過程に入り、2026 年に人口 1 億 2,000 万人を下回った後も減少を続け、2048 年には 1 億人を割って 9,913 万人となり、2060 年には 8,674 万人になると推計されています。

同じ 2060 年の丹波市の人口は、35,245 人（丹波市人口ビジョンより）という予測もあり実感がわきませんがいろいろなところに影響が出てくることが簡単に考えられます。学校もこれに備えていく必要を強く感じました。